



2024 年秋季講演会「若手交流会」実施報告

日本地下水学会 若手支援・男女共同参画（YEPS）委員会

栗原 俊*1

倉澤 智樹*2

実施概要

2024年10月17日（木）10:00～12:00 に若手交流会を開催しました。本交流会は、2024年秋季講演会の開催前に実施し、学生や企業・公的な研究所で働かれている方々を含む、合計で39名の皆様にお集まりいただくことができました。たくさんの方々にご参加いただいたこと、この場をお借りして深く御礼申し上げます。

この度の交流会では、地下水学に携わる学生や若手技術者・研究者の交流を目的とし、参加者それぞれの研究や業務内容についての発表会（ポスターセッション形式）を実施いたしました。学生7名、社会人4名の計11名もの皆様にご発表いただくことができ、多様な業務・研究内容について学べる機会ともなりました。ポスター発表といっても、コーヒーや紅茶などのドリンク提供もあり、堅苦しくない、とてもフランクな雰囲気の発表会になったと感じています。また、発表会の終了後は自由時間とし、食事（立食形式）を交えながら参加者同士の交流を図りました。自由時間も終始、談笑を交えながら活発な議論が行われていたことが印象的でした。普段の学会発表では、主に研究プロセスや結果・考察が議論の中心になるとは思いますが、この度の交流会では研究の裏話や大変だった事など、普段聞けないことについても意見交換できたのではないのでしょうか。また、交流会会場の中に、秋季講演会の受付が設置されていたこともあり、若手のみならず、たくさんの諸先輩方にも飛び入りでご参加いただくことができました。このことは、交流会における活発な議論の大きな要因になったと感じています。本交流会が若手の皆様にとって有意義な交流の場になったのであれば、大変嬉しく思います。



写真1 発表会の様子



写真2 伊藤委員長による総評の様子

*1 サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社

*2 愛媛大学

アンケート集計結果報告

若手交流会後に実施したアンケートの集計結果を図1に示しています。結果をみると、参加者の半数近くが学生の方で、社会人の方は53%でした。また、社会人の方の内訳は、研究者の方が33%、技術者の方が20%であり、満遍なく各方面からご参加いただきました。若手交流会の内容では、アンケートにご協力いただいた全員の方から、“とても良かった”、“良かった”との回答を得ることができました。良かったと回答した理由として、“参加の皆さまがポスター発表を通して自身の研究と重ね合わせて議論を深められている様子が感じられた”、“研究分野の異なる人が集まる機会となり、地下水に関連する普段触れない情報にも触れることができた”、“お互いの研究を発表しあって交流するスタイルはとて面白い”、などを挙げていただきました。また参加した理由について、“若手の活動が楽しそうだったから”、“他の地下水に関わる研究者と交流し接点を作りたい”というご意見も頂きました。開催の目的が達成できていると感じ、委員会として嬉しく思います。

また、参加回数に目を向けると、複数回参加された方が半数を占めており、参加者全員から今後も参加したいというポジティブなご意見をいただきました。引き続き盛り上がり期待できる結果となりました。情報源としては、知人からの紹介が多くを占めましたので、引き続き多方面から情報発信していき、参加者を募っていきたいと思います。

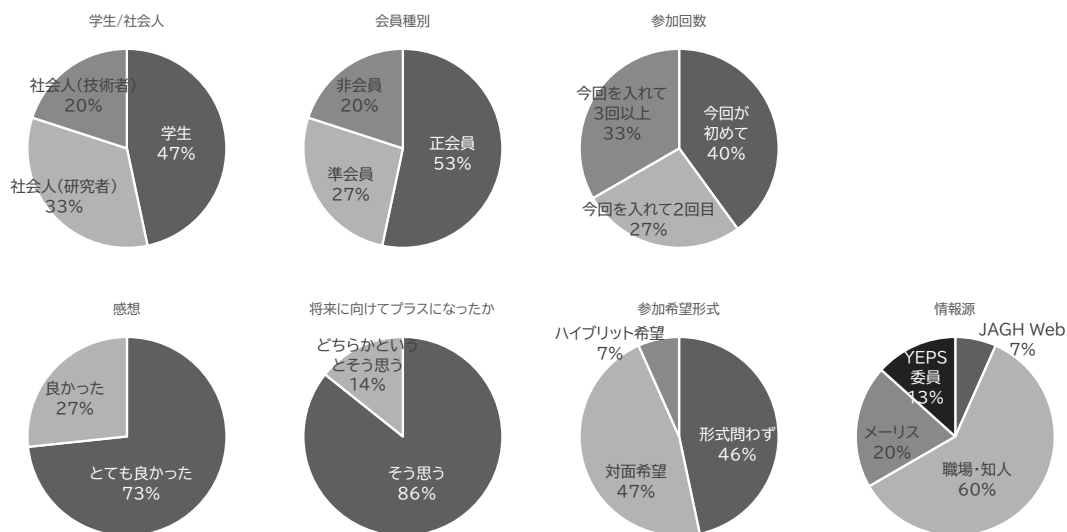


図1 アンケート集計結果

おわりに

YEPS 委員会では、若手研究者・技術者の皆様の接点を作り、お互いが切磋琢磨しながら研究・業務を進め、侃侃諤諤と議論していくことが若手育成に加え、学会全体の活力にもつながると考えています。今回は交流をメインとした会を開催しましたが、引き続き様々な機会を通じて男女共同参画の推進と将来を担う若手の皆様の支援をしていきたいと考えています。ご意見・ご要望、若手会への入会希望、若手ニュースメールの登録希望などがございましたら下記までご連絡いただけますと幸いです。

連絡先（日本地下水学会 YEPS 委員会）：yeps@jagh.jp